【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【公表番号】特表2014-511471(P2014-511471A)
【公表日】平成26年5月15日(2014.5.15)
【年通号数】公開・登録公報2014-025
【出願番号】特願2013-557863(P2013-557863)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｇ　13/06　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　 7/06　(2006.01)
Ｆ１６Ｇ　13/02　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　55/30　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｇ　13/06　Ｆ
Ｆ１６Ｈ　 7/06
Ｆ１６Ｇ　13/02　Ｅ
Ｆ１６Ｈ　55/30　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成27年3月5日(2015.3.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
チェーンおよびスプロケット駆動システムであって、
複数の第１の歯を備える第１のスプロケットと、
複数の第２の歯を備える第２のスプロケットであって、前記第１および第２のスプロケットは互いに対して等しくない数の歯を有する、第２のスプロケットと、
前記第１および第２のスプロケットの両方と噛合される逆歯チェーンであって、前記逆歯チェーンは各々が前方ピン中心を中心とする先行リンク列に対して関節連結し、かつ各々が後方ピン中心を中心とする後続リンク列に対して関節連結する複数のリンク列を備え、前記前方ピン中心および後方ピン中心はチェーンピッチＰで互いに離間され、前記リンク列の各々が前方内側歯面および後方外側歯面を備える逆歯チェーンと、
を備え、
前記第１のスプロケットの各歯は第１の圧力角で定義され、前記第２のスプロケットの各歯は前記第１の圧力角とは異なる第２の圧力角で定義され、
各列の前記前方内側歯面は、先行する列の前記後方外側歯面の作動部分に対して外向きに突出するとともに、内側歯面半径Ｒを備え、
前記第１および第２の両方のスプロケットに対して、
前記チェーンは接線に沿って前記スプロケットに近づくとともに、各スプロケットの前記歯の係合歯面は、初期噛合接触の時点において前記チェーンの噛合列の前記前方内側歯面の初期接触位置で前記チェーンと初期噛合接触し、
前記初期接触位置は、前記噛合列の前記前方ピン中心と前記後方ピン中心との間で延びるピン中心基準線から初期接触距離$ＩＣ_{D}$だけ離間され、０．４９Ｐ≦$ＩＣ_{D}$≦０．５３Ｐであり、
前記第１のスプロケットを使用して前記チェーンの前記初期噛合接触によって定義さ

れる第１の初期接触距離ＩＣ$_D$が、前記第２のスプロケットを使用して前記チェーンの前記初期噛合接触によって定義される第２の初期接触距離ＩＣ$_D$に等しく、

前記初期噛合接触の前記時点において、前記噛合列に直近で先行するチェーン列は、制御ピン中心となるように前記スプロケットのピッチ直径上に配置される前方ピン中心を含み、

前記スプロケットと完全噛合される前記チェーンの各列に対して、該列の前方および後方ピン中心はピッチ直径ＰＤ上に配置されるとともに、該列の後方外側歯面は前記係合歯面の１つと接触し、

噛合接触角タウ（τ）は、接線ＴＬと、前記制御ピン中心および前記初期接触位置の両方を通過する初期接触基準線との間で定義され、

リンクプレート入口角ベータ（β）は、前記初期接触基準線と、前記内側歯面半径Ｒの円弧中心および前記初期接触位置を通過する内側歯面基準線との間で定義され、

噛合衝撃角シグマ（σ）は、σ＝τ＋βであるように前記接線と前記内側歯面基準線との間で定義され、

前記第１のスプロケットおよび前記チェーンによって定義される前記噛合衝撃角シグマ（σ）は、前記第２のスプロケットおよび前記チェーンによって定義される前記噛合衝撃角シグマ（σ）に等しく、

前記噛合衝撃角シグマ（σ）は３１°以下であり、

前記第１の圧力角および前記第２の圧力角はいずれも少なくとも２７°で、３１．５°以下である、

チェーンおよびスプロケット駆動システム。

【請求項２】

前記チェーンピッチＰは６．３５ｍｍ≦Ｐ≦７．７ｍｍの関係を満足する、請求項１に記載のチェーンおよびスプロケット駆動システム。